科目ナンバリング	U-LAS04 20027 SJ46						
授業科目名<英訳>	精神病理学・精神分析学講読演習 Readings on Psychopathology and Psychoanalysis			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　松本　卓也		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(各論)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	水2	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

精神分析学及び精神病理学に関わる文献を英語（およびフランス語）で読み、この分野の独特の思考法の基礎を吸収する。この分野の思想の歴史をより深くまで辿り直すとともに、外国語文献を読むことに習熟することを目指す。

[到達目標]

精神分析学及び精神病理学に対して、研究の対象として取り組む端緒を得る。

[授業計画と内容]

ジャック・ラカンの主著『エクリ』に収録されている最重要論文「主体の転覆とフロイト的無意識における欲望の弁証法」の内容をおおまかに把握できるようになるために、その注釈書である Philippe Van Haute『Against Adaptation: Lacan's Subversion of the Subject』を読む。

この授業では、『エクリ』の細かい論理展開を辿ったり、同時代の周辺の思想との関係を調べたりすることを楽しみたい。なお、適宜ラカンの原文（フランス語）の言葉遣いを参照して解説する。フランス語の読解に挑戦する気持ちがあることが望ましい。

基本的に以下のプランに従って講義・講読を進める。ただし進みぐあい、時事問題への言及などに対応して順序や同一テーマの回数を変えることがある。

第1回 オリエンテーション
第2回～第14回 受講学生による訳文発表と教員によるコメント（学生は、各回ごとに自分の担当箇所の訳文を発表し、それを教員や他の学生とのディスカッションによって検討していきます）
第15回 まとめ

フィードバック方法は別途連絡します。

[履修要件]

精神分析学、精神分析I、同II、精神病理学I、同II、行動病理学I、同II、などの、精神分析と精神病理学に関連ある科目を少なくとも一つ履修済みであること。

[成績評価の方法・観点]

平常点（100%）による。授業への参加状況・発表内容を考慮する。

[教科書]

授業中に指示する

精神病理学・精神分析学講読演習(2)へ続く↓↓↓

精神病理学・精神分析学講読演習(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

指定されたテキストをよく理解して、部分的に日本語訳を作ってみること。
なお、授業外学修には、いわゆる「予習・復習」だけでなく、授業のなかで学んだことを各自の自習や日常や課外活動のなかで応用・実践し、生きた知識にすることも含まれる。

[その他（オフィスアワー等）]

KULASISによる。

[実務経験のある教員による授業]

①分類
実務経験のある教員による実務経験を活かした授業科目

②当該授業科目に関連した実務経験の内容
精神科医・公認心理師としての臨床経験。

③実務経験を活かした実践的な授業の内容
精神科医師・公認心理師としての様々な領域での臨床実務経験にもとづいて、精神医学と精神分析に関する知識を教授する。

[主要授業科目（学部・学科名）]